

リハビリテーション学科

【科目名】	福祉心理学	【担当教員】	大矢 真里
【授業区分】	専門分野(公認心理師養成科目)	【授業コード】	(メールアドレス)
【開講時期】	後期	【選択必修】	必修
【単位数】	1	【コマ数】	(オフィスアワー) 来校時に対応
<p>【注意事項】</p> <p>(受講者に関わる情報・履修条件)</p> <p>特になし。 この科目は実務経験者対応科目である。</p> <p>(受講のルールに関わる情報・予備知識)</p> <p>毎回出席カードの配布、コメントの記入を求めます。</p>			
<p>【講義概要】</p> <p>(目的)</p> <p>この科目は公認心理師養成のための必修科目である。 以下の ~ を中心に、公認心理師として必要なトピックを理解する。 福祉現場において生じる問題及びその背景、福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援 虐待についての基本的知識 当該科目と学位授与方針等との関連性 ; A-1,2、R-1,2,3</p> <p>(方法)</p> <p>教科書と配布資料を使用して講義を行います。 必要に応じてグループワーク、発表、参加型演習などを実施します。</p>			
<p>【一般教育目標(GIO)】</p> <p>福祉現場において生じる問題及びその背景について理解する。 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援方法について理解する。 虐待、認知症に関する必要な支援方法について理解する。</p> <p>【行動目標(SBO)】</p> <p>福祉現場において生じる問題及びその背景について説明できる。 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援方法について説明できる。 虐待、認知症に関する必要な支援方法について説明できる。</p>			
<p>【教科書・リザーブドブック】</p> <p>中島健一(編)『福祉心理学』遠見書房(2,600円+税)</p>			
<p>【参考書】</p> <p>特になし。</p>			
<p>【評価に関わる情報】</p> <p>(評価の基準・方法)</p> <p>成績評価基準は、本学学則規程のGPA制度に従う。 成績評価は、定期試験と学修に取り組む姿勢により総合的に評価する。 出席点は評価に含まれません。</p>			

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計(%)
総合評価割合		60			20			20	100
評価指標	取り込む力・知識	30			10				40
	思考・推論・創造の力	30			10				40
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営方法 (講義・演習、教員、教室など)	学修課題(予習・復習)	時間(分)
1-2	高齢者への心理支援	講義 演習	教科書を読む 講義プリントの復習 関連した文献を読む	240分
3-4	高齢者への心理支援	講義 演習	教科書を読む 講義プリントの復習 関連した文献を読む	240分
5-6	生活困窮・貧困者への心理支援	講義 演習	教科書を読む 講義プリントの復習 関連した文献を読む	240分
7-8	ひきこもり・自殺予防の心理支援	講義 演習	教科書を読む 講義プリントの復習 関連した文献を読む	240分
9-10	精神障害者への心理支援	講義 演習	教科書を読む 講義プリントの復習 関連した文献を読む	240分
11-12	家族・職員への心理支援	講義 演習	教科書を読む 講義プリントの復習 関連した文献を読む	240分
13-14	多職種協働と心理職の位置づけ	講義 演習	教科書を読む 講義プリントの復習 関連した文献を読む	240分
15	まとめ	講義 演習	教科書を読む 講義プリントの復習 関連した文献を読む	240分